



JCSS

総数 2 頁の 1 頁
証明書番号 0000

校正証明書

品名	粘度計校正用標準液
型式	JS 000
器物番号	LOT NO.000
製造者名	日本グリース株式会社
校正項目	動粘度及び粘度
校正方法	2 頁のとおり
校正実施条件	2 頁のとおり
校正実施場所	神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-12-4
校正実施年月日	0000 年 00 月 00 日～0000 年 00 月 00 日

校正結果は、次頁のとおりであることを証明します。

発行日 0000 年 00 月 00 日

神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-12-4
日本グリース株式会社 標準室



発行責任者 ○ ○ ○ ○

この証明書は計量法第 144 条(第一項)に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

この証明書を発行した事業者は、JIS Q 17025(ISO/IEC 17025:2005)に適合しています。この証明書は ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APLAC(アジア太平洋試験所認定協力機構)の MRA(相互認証)に加盟している IAJapan に認定された校正機関によって発行されています。この校正結果は ILAC/APLAC の MRA を通じて、国際的に受け入れ可能です。

校正結果

温度 (°C)	動粘度 (mm ² /s)	粘度 (mPa·s)
00.00	000.00 ±0.00	000.00 ±0.00
00.00	000.00 ±0.00	000.00 ±0.00
00.00	000.00 ±0.00	000.00 ±0.00

記号±に続く数値は拡張不確かさを表し、包含係数 $k=2$ を合成標準不確かさに乗じて求めたものである。包含係数 $k=2$ は、正規分布においては、約 95% の信頼の水準に相当するものである。

拡張不確かさは、未開封液の動粘度の 1 年当たりの変化率を含んでいる。

校正方法 細管式粘度校正装置を用いた比較測定法による動粘度測定
動粘度に密度を掛けて粘度を算出する

校正実施条件 動粘度校正時の校正室内の環境条件は次のとおり

空気温度(°C)	湿度(%)	大気圧力(hPa)
00.0~00.0	00.0~00.0	0000.0~0000.0

粘度の算出にはピクノメータによる次の密度測定結果を用いた

温度(°C)	密度(g/cm ³)
00.00	0.000 00 ±0.000 00
00.00	0.000 00 ±0.000 00
00.00	0.000 00 ±0.000 00

記号±に続く数値は拡張不確かさを表し、包含係数 $k=2$ を合成標準不確かさに乗じて求めたものである。包含係数 $k=2$ は、正規分布においては、約 95% の信頼の水準に相当するものである。

以上